

事務事業名	保健介護センター維持管理事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	安心が確保されたまちづくりの推進 014			事業期間		予算科目				
	施策名	生涯にわたる健康づくりの推進 117			单年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 单年度繰返 (開始 昭和58 年度～)		会計	款	項	目	事業
	基本事業名	保健・予防活動の充実 011					01	04	01	01	03
根拠法令					期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター									
	係 名	庶務係	電話	0192-27-1581	内線	437					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
<ul style="list-style-type: none"> ・保健介護センターの施設維持管理を行う事業。 ・主な業務は、清掃、警備、電気・消防設備の保守点検、施設の修繕維持管理を行う。 ・事業費は、委託料、光熱水費、備品購入等に支出される。 						総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
						地方債					
						その他					
						一般財源					
						事業費計 (A)			0		
						人件費					
						正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計 (B)			0		
						トータルコスト(A)+(B)			0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

- ・清掃業務、警備業務、消防設備保守点検業務の委託

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

- ・前年度と同様に維持管理を行う。
- ・集団指導室の修繕を行う。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・保健介護センター
- ・施設利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

公共施設の適切な維持管理により利用者の利便性を向上させる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全、適切で快適な利用ができ、利用者の活動の充実が図られる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称		単位
ア	清掃回数	回
イ	保守点検件数	件
ウ		

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称		単位
カ	利用者数	人
キ		
ク		
サ	施設に対する苦情要望件数	件
シ		
ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投 入 量	事 業 費 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A)	年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			千円						
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	5	5	5	5	5	5	5
	人件費計 (B)	千円	20	20	20	20	20	20	20
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,263	1,268	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620
	⑤活動指標	ア	回	12	12	12	12	12	12
		イ	件	2	2	2	2	2	2
		ウ							
⑥対象指標	カ	人	16418	7822	9000	9500	9500	9500	9500
	キ								
	ク								
	サ	件	0	0	0	0	0	0	0
⑦成果指標	シ								
	ス								

事務事業ID	0286	事務事業名	保健介護センター維持管理事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・昭和58年に国・県の補助制度により施設を整備した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・施設が建設から長期間経過しているため、今後、修繕しなければならない箇所が多くなっている。また、施設的に手狭なため事業展開が難しい。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・利用者から施設の改善を求められている。(バリアフリーにしてほしいとの要望あり)

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	市民の健康に関する政策推進の拠点施設となっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	市民の健康増進を目的として、市が設置したものである。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	当該施設に限定した事業であり、規模に相当する事業内容である。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	経年に応じて事業実施しており、事業の過不足がないよう努めている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	施設利用者へ適切なサービス提供ができなくなる。又、代替施設も無い。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・保健事業を実施できる施設が他にないため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】	
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	経年変化及び施設の適切な維持管理に必要な経費であるため削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	職員による通常の維持管理により特殊業務等の専用業者としての委託契約によるほかは、経費の削減に努めている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	利用者全員が等しく事業成果を受けることができる。

3 評価結果の総括と今後の方針(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																			
<table border="1"> <tr><td>① 目的妥当性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>② 有効性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>③ 効率性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>④ 公公平性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> </table>			① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>施設が手狭なので、他の施設利用も検討する。(市民文化会館の利用等) 駐車場が未舗装のため、市民に不便をきたしているので舗装する必要がある。(平成21年度に舗装済み) 総合福祉センターの事務室が狭隘なため、職員の一部を保健介護センター事務室に移動することを計画したが、電算システムネットワーク整備等に経費が掛かりすぎることから実施を見合わせた。</p>																							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)			(4) 改革・改善による期待成果																																			
<table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/> 廃止</td><td><input type="checkbox"/> 休止</td><td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td><td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td></tr> <tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)</td></tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で、より良い施設管理を維持し、市民の健康を守るために各種事業を展開していく必要がある。 総合福祉センター事務室の執務環境を改善するための保健介護センター事務室への職員移動は、経費面やデメリットを検討する。 			<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)					<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成 果</th><th>向 上</th><td>●</td><td></td><td></td></tr> </thead> <tbody> <tr><th>維 持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><th>低 下</th><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr> </tbody> </table>					コスト					削減	維持	増加	成 果	向 上	●			維 持			×	低 下	×	×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																																		
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)																																						
		コスト																																				
		削減	維持	増加																																		
成 果	向 上	●																																				
	維 持			×																																		
	低 下	×	×	×																																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																						
<ul style="list-style-type: none"> 職員の事務室の移動を行う場合、市で総合福祉センターの利用が増加することの調整(センター建設に貢献した団体やセンター利用者への配慮、社会福祉協議会の使用料の減収)、移動に要する経費の妥当性、事務室間の電話転送不可への対応などについて課題がある。 職員の移動に伴い、保健介護センターで保健指導業務、予防業務を行うことにより、施設の名称を保健センターに改めるべきか検討をする。 																																						

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者 保健介護センター所長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- 記述不足でわかりにくい
 一部記述不足のところがある
 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
 一部に客観性を欠いたところがある
 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④ 公公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

適切な事務執行がなされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公公平性改善)				

(上記方向性に対する具体的な内容)

施設の適切な維持管理業務であるため、現状どおり継続して実施する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向 上	○		
維 持		●	×	
低 下	×	×	×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項